

実り多き夏休みのために

夏休み期間

町内小中学校 / 7月27日(土)～8月21日(水)

弟子屈高校 / 7月27日(土)～8月20日(火)

命を大切にしよう
生活のリズムを守ろう
非行を起こさないようにしよう
事故には十分に注意しよう

- ▶外出するときには、帰宅時間や行き先を保護者に必ず伝えましょう。
- ▶学校で禁止されている場所(ゲームセンターやカラオケボックスなど)には、出入りをしないようにしましょう。(補導対象になります)
- ▶立ち入り禁止区域など、危険な場所には行かないようにしましょう。
- ▶帰宅時間を守りましょう。(小学校・中学校・高校で異なります)
- ▶小・中学生のみでのキャンプ・外泊は禁止です。
- ▶学習にも計画的に取り組み、苦手な範囲を復習しましょう。
- ▶インターネットを通じたトラブルには十分気をつけましょう。

町民の皆さんへ

子どもたちが楽しみにしている夏休みがいよいよ始まります。長期の休みでは、解放感から不規則な生活になったり、さまざまな誘惑に乗ってしまったり、不適切な行為に走ったりする恐れがあります。また、インターネットを通じたトラブルなども全国各地で多発しています。

子どもたちには、家庭での生活を中心に、楽しく、安全かつ有意義に過ごし、また、地域の一員として自立的に生活し、人と人との絆を強めていってほしいと願っています。

町民の皆さんには、見守りの輪を広げ、時には叱咤激励していただけるとありがたく存じます。地域の子どもたちに関心を持っていただき、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

弟子屈町生徒指導連絡協議会・町教育委員会

町・弟子屈防犯協会・川湯防犯協会・弟子屈町少年補導員連絡協議会

弟子屈警察署 ☎ 4 8 2 - 2 1 1 0 川湯駐在所 ☎ 4 8 3 - 2 1 5 1

弟子屈小学校 ☎ 4 8 2 - 2 0 4 4	川湯小学校 ☎ 4 8 3 - 2 0 4 1	和琴小学校 ☎ 4 8 4 - 2 0 6 1
美留和小学校 ☎ 4 8 2 - 1 0 9 7	奥春別小学校 ☎ 4 8 2 - 4 8 1 9	弟子屈中学校 ☎ 4 8 2 - 2 0 7 1
川湯中学校 ☎ 4 8 3 - 2 3 3 7	弟子屈高校 ☎ 4 8 2 - 2 2 3 7	

経済センサス基礎調査

日本の未来のために、
とても大切な調査があります。



経済センサス基礎調査は、国内全ての産業分野の事業所を対象とする調査で、各事業所の活動状態(活動・休業・廃業など)を確認します。

▶調査期間

- 6月1日～7月31日 / 川湯温泉、川湯駅前、跡佐登、アトサヌプリ、サワソップ、美留和、屈斜路、札友内、弟子屈原野ほか
- 8月1日～9月30日 / 弟子屈市街(鈴蘭、摩周、美里、湯の島、朝日、中央、泉、桜丘、高栄)、弟子屈原野、仁多、熊牛原野、奥春別、鎧別、奥オソツベツ

▶調査方法

北海道に任命された調査員が各事業所の建物外観から活動状況を把握します。活動状況が分からない場合や、前回(平成26年度)調査時に調査対象でなかった新規事業所には、調査員が訪問し、調査票の配布などを行います。

問い合わせ先 / 役場まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3

生徒指導連絡協議会便り

7月1日 No. 12

「大人が子どもを

さりげなく見守る…」

今年度、弟子屈町生徒指導連絡協議会の会長を務めます、弟子屈中学校長の木村郁夫です。町民の皆さんには、日頃より本町の児童・生徒の健全育成のため、また、本会の活動にさまざまなお力添えをいただいておりますこと、衷心より感謝申し上げます。

本会では各小中学校と弟子屈高校にご協力を頂き、昨年度までの二年間で小学校一年生から高校生までの児童・生徒を対象に、情報端末機器に関するアンケートを実施しました。その結果、①ゲーム機やゲームのできる情報端末の所持率が、特に小6から高3では95%以上、②携帯電話・スマートフォン・タブレット・ネットにつながるゲーム機の所持率が、小5から中2では75%前後、中3から高3では93%以上、③小6から中2までの児童生徒は、40%以上が一日に2時間以上スマホや携帯などを使用し、中3から高3の生徒にいたっては、70%以上が一日に2時間以上スマホや携帯などを使用しているといった、たいへん心配なデータが明らかとなりました。

そこで、昨年度は11月に東北大学加齢医学研究所の川島隆太教授を講師にお迎えし、「生活習慣と子どもの心身の発達」脳科学から見るネット社会の影響」と題してご講演を頂きました。川島

氏により、「近年、我々は、スマホなどのインターネット習慣が子どもたちの脳発達を阻害すること、逆に読書習慣は脳発達を促すことを発見しました」とのことでした。

今後は、アンケート結果の分析に基づいて、子どもたちを取り巻く環境を的確につかみながら、町全体で統一した約束やルールをつくっていかれたらと考えております。

最後に、先日、神奈川県川崎市で、登校中の児童等多数が凶器で危害を加えられ、犯人を含む3人が死亡するという大変痛ましい事件が発生しました。町教育委員会の指導のもと、各学校でも通学路の再点検と巡回や見守り、児童生徒への指導の徹底、保護者へのお願いやなどを行っていました。そこで町民の皆さんにもお願いがあります。子どもたちが毎日登下校する午前8時頃と午後3時頃の時間帯に合わせて、買い物や犬の散歩、花壇の手入れなどを行い、大人が子どもをさりげなく見守ることが生活の一部となるような、温かい町づくりにご協力いただけないでしょうか。この取組みは、広く「八・三運動」とも呼ばれています。子どもたちを守るために、そして健全な育成のために、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

弟子屈町生徒指導連絡協議会

会長 木村郁夫(弟子屈中学校長)

町内団体の取り組みを紹介 ～奥春別小学校～



奥春別小学校

奥春別小学校では、一年間を通して地域との行事や児童会活動に取り組んでいます。

「地域連合大運動会」では、学校と地域が協力し合い、親睦を深めます。児童と地域の皆さんで運動会係を充足し、競技を応援する放送係、競技で使う物を準備する用具係など、地域の皆さんとともに運動会をつくっています。

また、冬に開催している「やんちゃウインターフェスティバル」は、児童会が企画から運営までを行い、地域の皆さんを招待して一緒に楽しむと

お知らせ

今年も、本格的な夏を感じる季節となりました。

本協議会の理念である「町民が一体となって、児童・生徒の健全育成に関わっていく」のもと、今後も関係各団体からの情報発信や、町民の皆さんへの情報提供の場にしていきたいと考えております。

また、町内での子どもたちの様子でお気づきのことなどがありましたらぜひお知らせください。よろしくお願いいたします。



「やんちゃウインターフェスティバル」での記念写真

「やんちゃウインターフェスティバル」では、雪上ドッジや雪合戦、雪上ドッジなど、冬の楽しい外遊びを児童が工夫して企画しています。そこには、地域の人たちも楽しく過ごすことができるように、周りの人たちのことを思いやる気持ちがあります。

こうした活動が、児童と地域の絆を強め、よりよい学校生活に繋がっています。これからも、子どもたちが地域との繋がりを感ぜられる活動を、進めていきたいと思っております。

問い合わせ先 / 弟子屈町生徒指導連絡協議会 事務局(弟子屈中学校) ☎ 4 8 2 - 2 0 7 1